

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	平成28年10月20日(木) 午後1時30分から午後3時20分まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	山極会長、山部副会長、阿部委員、伊藤委員、尾崎委員、工藤委員、甲田委員、小林委員、坂田委員、高野委員、竹内(榮)委員、竹内(弘)委員、竹下委員、龍野委員、西川委員、早坂委員、林委員、本間委員、増澤委員
5 市側出席者	北沢センター長、堀内センター長補佐、佐藤主査 建築指導課 小宮山課長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 無
8 会議概要作成年月日	平成28年10月24日

協議事項等

1 開会(山部副会長)

2 あいさつ(山極会長)

3 協議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業プレゼンテーション及び審査(1件)

申請団体「別所温泉を発展させる会」による事業説明及び質疑応答

(2) 終了後に選考審査(非公開)

(2) 第5期塩田地域協議会の意見書に対する上田市の取組状況について

・空き家対策について(上田市都市建設部 建築指導課)

市建築指導課から説明及び質疑応答

(委員) 空家等の実態調査等の情報を地域に提供していただきたい。

(市建築指導課) 空き家の情報は個人情報に近いので、地域に提供できる内容については今後検討していきたい。

(委員) 空き家の情報のデータベースを外に発信するなど活用していくべきではないか。

(市建築指導課) 空家等の実態調査等のデータベースは空き家対策のため庁内で活用することを主に考えている。対外的な空き家情報としては、市に「信州うえだ空き家バンク制度」があり、売却又は賃貸希望者が登録していただいた空家等の情報を発信している。

(委員) 空家等のデータベースは昨年自治会から報告したものが基になるのか。

(市建築指導課) データベースの整備に当たっては、自治会から提供された情報のほか、市上下水道局及び県営水道で1年間使用実態の無い家屋の情報の把握、現地調査などにより空家を特定しながらデータベース化する予定である。

なお、自治会から提供された情報をまとめると、市内全体では空家等と思われる空き家は2,650戸、そのうち倒壊などのおそれのある空家「特定空家等」が347戸という結果となった。内訳は、上田地域では空家等と思われる空き家が1,752戸、うち「特定空家等」は227戸、丸子地域では空家等と思われる空き家が535戸、うち特定空家等は46戸、真田地域は空家等と思われる空き家238戸、特定空家等38戸、武石地域は空家等と思われる空き家125戸、うち

特定空家 36 戸という結果になっている。

(委員) 空き家対策は「住民からの苦情や相談にどのように対応していくか」ということではないかと思う。自治会の相談に対応したり、自ら調査するなどの仕組みづくりを検討していただきたい。

・「全国ため池フォーラム」誘致及び「国際かんがい施設遺産登録」への取組
市担当課が所用により出席できないため、事務局から現状報告を行った。

(3) 専門委員会の活動報告について

「地域振興委員会」から別所温泉関係者との意見交換会(10月19日実施)について報告が行われた。

(4) その他

なし

4 その他

事務局から上田城・大阪城友好城郭提携 10 周年記念事業 太鼓×歌劇「大阪城パレード」 - 将星 真田幸村 - 上田公演、次回開催などについて事務連絡を行った。

5 閉 会 (山部副会長)